

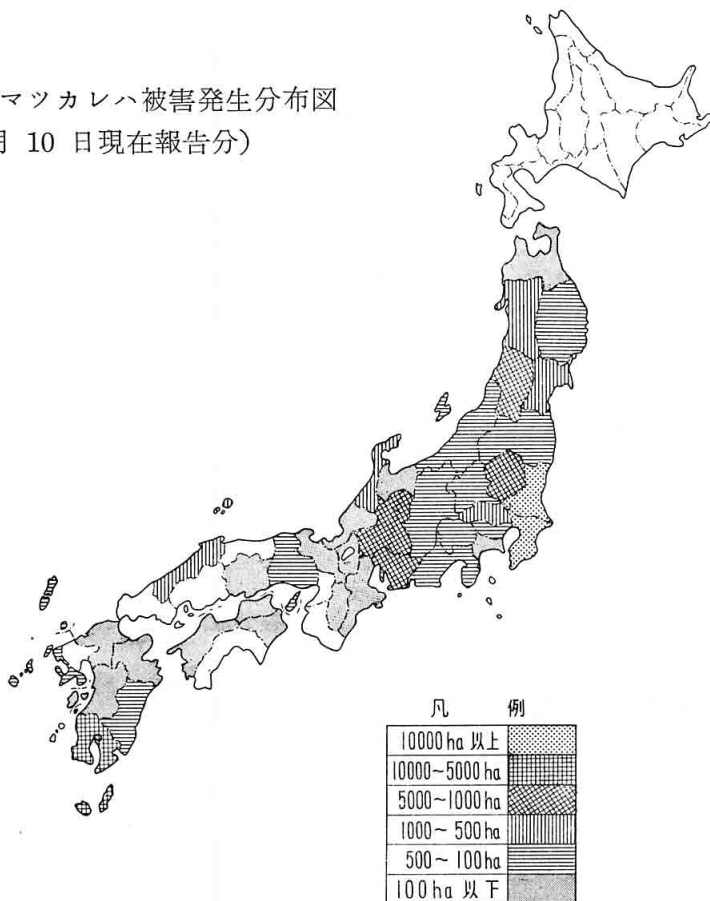
森林防疫ニュース

編集 林野庁

発行 全国森林病虫獣害防除協会

1960. 10. 1

昭和 28 年度マツカレハ被害発生分布図
(8 月 10 日現在報告分)



目 次

観 察

- ヒノキの徳利病の変型.....浜 武 人..... 2
- スギを加害するコフキハムシについて.....喜 多 村 昭..... 3
- カバノキハムシ *Syneta adamsi* BALY
 - がストロブマツを加害.....小 林 守..... 5
 - スギノハダニに強いスギと弱いスギ.....長 谷 川 行 衛..... 6

- 情 報..... 8
- 刊行物紹介.....20

観 察

ヒノキの徳利病の変型

浜 武 人

ヒノキの徳利病とは、名の示すごとくヒノキの根元が酒を入れる徳利のような形になる病気であるため、一般の人々にもよく知られていて、その被害も全国各地に見出されているが、長野県内においても本病は木曾谷をはじめ、諏訪、安曇などあちこちのヒノキ林内にかなり広く分布し被害をおよぼしつつある。

したがって私共も本病に関しては機会あるごとに調査をおこなっているが、最近本病に関し病徴のやや変つたものを見出したのでお知らせする。

1. 被害発生場所

昭和 34 年 9 月 18 日、長野県北安曇郡松川町大町営林署松川担当区部内馬羅尾国有林 87 そおよびれ小班において、大正元年植栽樹令約 50 年生のヒノキ二十数本が徳利病にかかっているのを見出した。そしてこれらは、幹の地際が異常にふくれるものが最も多かつたが、幹の中途がふくれるもの、あるいは徳利症状がいくつか重なつて段になつたものがそれぞれ 2 本ずつ混在していた。

次の区分がだ当であるかどうかわからないが、便宜上最初のを普通型、次のものを中腹型、最後のものを多段型というように区分してみた。

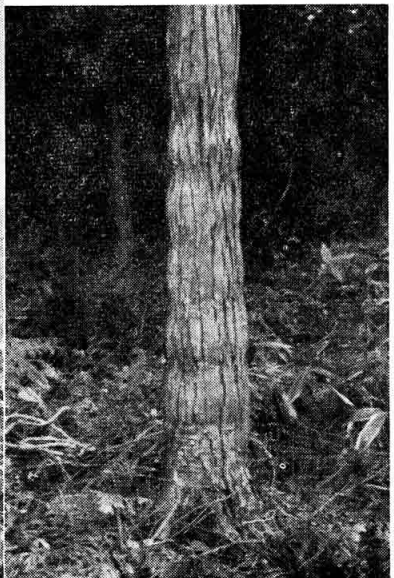
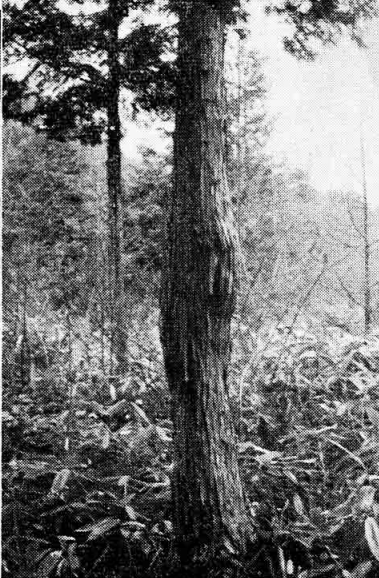
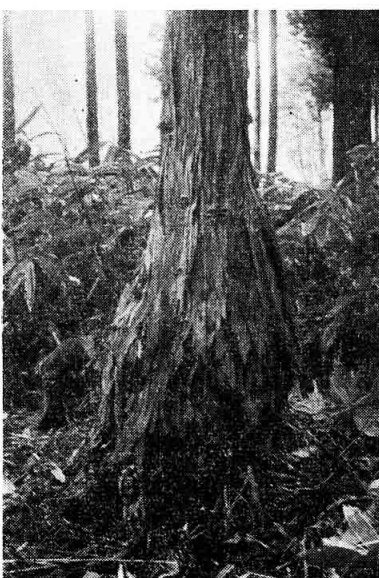
2. 病 徴

(イ) 普通型

これについては改めてのべるまでもないが、幹の地際部附近から目どおりまで異常に肥大生長して徳利状を呈するものであるが、大町のもは特に徳利症状が顕著で、目通り附近の健全部が約 30 cm に対し肥大部が約 70 cm に達するものがあつた。肥大部の樹皮は濃赤色で最外部の皮は裂けてたれさがつていた。(第 I 図)

(ロ) 中腹型

これは徳利病が幹の中腹部にみられるもので、私共のみたものはこの症状が 2 本とも地上高 2 m 以内に認められたが、肥大部の樹皮は普通徳利病と全く同じようにさけてたれさがつていた。なおこの場合肥大部上下の直径が約 25 cm に対し、被害部は約 45 cm を示した。(第 II 図)



第 I 図 普通型徳利病 (長野, 大町 1959. 9)

第 II 図 中腹型徳利病 (同 左)

第 III 図 多段型徳利病 (同 左)

(ハ) 多段型

これは徳利病が地際から目通り附近の幹までいくつか重なった型であるが、この時の調査では地上約2mの間に6段重なっていることが確認された。そしてこの6つの肥大部は、健全部が約20cmに対し、地際のもの約30cm、最上段が約28cmを示した。(第Ⅲ図)

なお肥大部の樹皮は、前の二つの型にくらべると裂け方も少く、したがつてたれ下つている皮も少しであった。

以上が私のみた徳利病の変型であるが、この病気の出た場所の地形は東方に5°の傾斜を示す扇

状堆積地であり、土壌は砂質で未熟土であった。そして、この地形、土壌と類似した約1km下方の天ぐ岩官行造林地内小足間沢の50年生ヒノキにも普通型の徳利病が数十本認められたことから、この附近の人々は土壌が関係しているのではないかといひ伝えているという話であった。本病は今のところ生理病とされているが、いろいろしらべられているからその中、原因も明かにされるものと思われる。たまたま型の変つたものが見あつたので報告する次第である。

(林業試験場木曾分場保護研究室)

スギを加害するコフキハムシについて

喜多村 昭

はじめに

スギを加害するハムシ科の昆虫については、すでにスギハムシ *Basilepta pallidulum* (BALY), ホタルハムシ *Monolepta dichroa* HAROLD, ケブカスギハムシ *Lypesthes itoi* CHUJÔ の3種が知られ、それぞれ森林防疫ニュース等に被害状況が報告されているが、コフキハムシによる被害は同誌上ではみられないので紹介してみたい。

今年(1960年)の5月中旬、三重県最南部にある熊野市飛鳥町でスギ造林地の1年生、約7反歩、1,500本に加害するというハムシの標本がAgから送られてきたので、はじめケブカスギハムシではないかと鱗状毛の有無を調べたが認めることができず、また白粉は見られないがコフキハムシのようにも思われた。しかしスギに加害するという文献が見当たらないので一応香川大学の中条博士に標本を送つて同定して頂くことになり、その結果コフキハムシであることが確認された。そしてスギの葉を食害することは重要な新知見であり詳細に調べて発表するようにとの御返事を頂いた。また別に依頼してあつた三重大学昆虫学教室の山下助教からも同様にスギコフキハムシである旨の御教示を頂いた。



第1図 コフキハムシ
成虫(×2)

両先生に対し厚く御礼申し上げます。以下「日本昆虫図鑑」、「図説食葉はむし類」等からこの害虫の概要を引用し、併せてスギに対する加害状況をのべる。

種名

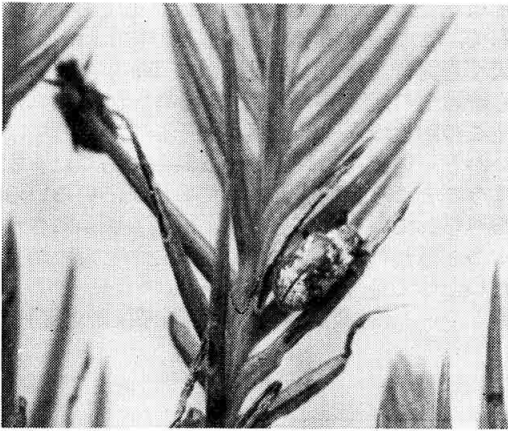
コフキハムシ *Lypesthes ater* MOTSCHULSKY
は別名をコフキササルハムシ、リンゴノコフキハムシ、リンゴコフキハムシともいう。

形態

成虫は体長♂6.5mm, ♀7.0mm内外で体は略々円筒形、黒色で白粉に被われる。白粉は時に全くなくなることもあるが、多くの図鑑では白粉を被つたまま図示されている。触角の基部3節と上層は黄褐色、頭には細かな縮刻があつて触角は体長の約3分の2、細長い糸状、第2節は第1節よりも短かく、第3節は第2節の2倍以上、第1節は背面が黒褐色、前胸はほぼ円筒形、巾は長さより殆んど広くなく、両側には稜がない。前背面の点刻は頭部と同じようである。翅鞘は一層強く点刻せられ、点刻は極めて接近した縦列をなし間室は所々不明瞭に隆起する。腿節には各一歯があり、脛節末端と跗節は暗褐色である。

分布

日本(北海道, 本州, 佐渡ヶ島, 四国, 九州), 朝鮮, 満州, 支那。



第II図 スギを加害するコフキハムシ (×2)



加害樹種

リンゴ、トサミズキ、エゴノキ、トチ、クルミ等の葉を食べることが知られているが、スギの葉を食害することは今までの記録ではないようである。

加害時期

成虫による加害は5月上旬～8月上旬で、熊野

地方では5月20日頃からスギに加害し、針葉上で発見される。

被害状況

被害発生地は紀勢本線熊野市駅の北方約10kmの熊野街道に沿った標高350～500mの再造林地で、附近の500m以内には広葉樹はみられない。現地調査は発生してから1ヶ月後の6月21日で降雨があり、BHC粉剤で防除されたあとでもあつて比較的個体数は少なかったが、食害状況を観察することができた。食害状況はスギ当年生の新葉に静止し、針葉の縦軸に沿って表皮を食い破り、浅く啃食するので針葉は萎凋して褐色となり垂れ下がる。主軸及び2年葉の食痕も一部被害は認められるが軽微である。ヒノキの鱗片葉も食痕が認められるがスギ新葉のように顕著でなく、ところどころ褐色の鱗片があるといった程度である。所有者によると1本の木(1年生)に3頭以上が寄生すると木は枯れるということである。被害は500m以上離れた10年生のスギ針葉からも発見採取され、可成り広範囲にわたって被害があるものと推定される。尾根筋の高燥地よりも、谷沿いの生長旺盛なスギ針葉を好んで加害するようで、他のハムシ科、コガネムシ科でみられるようにこの虫にふれると直ちに飛翔することなく、地上に落下して地被物にかくれる習性がある。卵、幼虫の調査は降雨のため十分にはできなかつたが、被害地の表層を掘ってみたところ、ハムシ科の蛹と思われる体長4～5mm、円筒形乳白色で1対の尾状突起を有する虫体を若干採取することができた。以上が被害のあらましであるが、生活史等不明の点も多く残っているので今後も注意して観察を続けたい。なおこの被害林地からマダラカサハラハムシ *Demotina fasciculata* BALY と マスダクロホシタマムシ *Lampra vivata* LEWIS 等も採取された。

防除対策

1. 個体数の少ないときは捕殺する。
2. 成虫の加害時期にBHC粉剤を散布すると効果はあるが、発生期間が長いいため2～3回散布する必要がある。BHC粉剤はぬれた新葉に附着すると薬害の危険があるので注意する。熊野の防除地でも薬害がみられた。
3. 林種転換地は従来広葉樹を食害していたと思われるコフキハムシ等の被害を受ける可能性があるため注意する必要がある。

(三重県林務課 保護 Sp.)

カバノキハムシ *Syneta adamsi* BALY

がストロブマツを加害

小 林 守

我国におけるストロブマツの害虫はあまり報告されていないが、現在までに発生したものとして、アナアキゾウムシ *Pale weevil, white pine weevil (Pissodes strobi)* が大正の末期から昭和の初期にかけて、又、ヒメハマキガ科のマツトビマダラシムシ *Grauitarmata retiferana* がストロブマツに加害したと報告¹⁾ されている。いづれにしるゾウムシ科 *Curculionidae* の被害が多いようであつて、ハムシ科 *Chrysomelidae* がストロブマツを加害したことはほとんど報告されていないものと思われる。

筆者がたずさわっているストロブマツ造林地にハムシ科 *Chrysomelidae* の一種が発生し、ストロブマツの樹梢の表皮を加害したので標本を採取し、日本昆虫図鑑²⁾ によりホソゲハムシ *Syneta adamsi* BALY と類似していることが解つたが、専門者の同定をうべく6月13日林試北海道支場昆虫研究室小泉力技官に同定依頼したところ、カバノキハムシ *Syneta adamsi* BALY であることが解つた。したがつて当虫の和名はカバノキハムシで別名をホソゲハムシであることが知らされた。

カバノキハムシ *Syneta adamsi* BALY の生態については未だ明らかでないことが多いので、これを研めるべく小泉力技官より生態観察の依頼をうけており、今後の観察によつて生態が明らかになれば改めて報告したいが、ここでは今までの調査した概要を報告しストロブマツにハムシ科 *Chrysomelidae* の加害のあることを掲げ今後の参考に資したい。

報告に先立ち小泉力技官に感謝の意を表すとともに、十勝支庁大塚千弘・太田馨両技師の御協力にたいしあわせて感謝し今後の御指導を仰ぐ次第である。

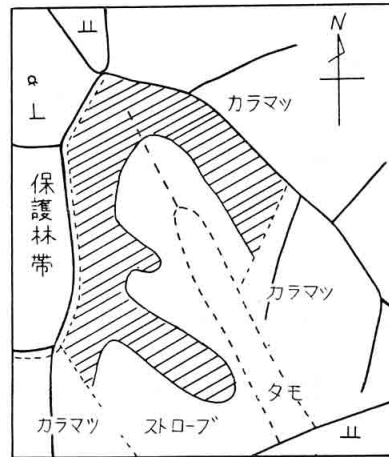
成虫の形態

カバノキハムシ *Syneta adamsi* BALY の成虫の形態の特徴は、他の *Chrysomelidae* の昆虫と異なつて前背板の両側に鈍く角つた歯状突起が不規則な形で4~5本萌出し、頭部と前背板は密に点刻され、各翅鞘には強い点刻列が3~4本あつて、それも肩部から出る1本の隆起した間室を除いては他の間室ははつきりと認められない。体長は♀>♂で5~7.5mm 体色は♀♂別に区分さ

れ、♀は全体に黄褐色であるが頭部と前背板は翅鞘に比して濃黄褐色を呈し触角は全体が黄色である。♂は頭部と前背板は黒色で翅鞘は黒みをおびた濃黄色であるが会合線と翅鞘の両側に各1本の黒条線がある。触角は基部5~6節の黄色を除いて全体が黒褐色を呈す。又♀♂ともに脚の全体に灰黄色の短毛がやや疎に生えている。

当虫の分布は北海道、本州、九州、対島、満州アムールとされ、本州ではやや高地帯に産し5~8月頃シデ、ブナ、ササ等の葉上に多く棲息すると報告されているが、本道の棲息場所については明かでない。

カバノキハムシの発生経過



カバノキハムシの被害地概要図

被害発生地は十勝国中川郡幕別町字豊岡(1基本区79森林区62林班26小班)で昭和34年4月に植栽したストロブマツ造林地(前林はナラ、カンワが優占種で林種改良した林分、

当地の周辺にはストロブマツの造林地はない)面積2.47haに発生したものである。

カバノキハムシがストロブマツに寄生していたのを発見したのは、35年5月20日で既に交尾期に入つており、樹梢や枝条又は枝条基部に1~6頭がみられた。発生位置は概して急傾斜地の陽当りのよく且つ通風のよい乾燥し易いところに棲息し、沢状地よりも中腹以上の峯すじに多い傾向がみうけられた。その後5月下旬から6月10日までの間に4回生態調査を兼ねて調査したが、6月7日、10日の両日にはほとんど全てが交尾しており、分散していたものが局所的に群集したような様相を呈し、その数は17~20疋と5月20日の

約3倍の寄生数を示した。又7月7日、7月22日に幼虫について調査したが、成虫はついに発見できずに終わった。これはカバノキハムシが産卵のためにどこかに飛散したものと思われる。それは寄生地の食餌木の周辺にはその死体の一つも発見することができなかつたからである。その後の数度の調査でもハムシ科の近縁種と類似した形態の幼虫はいまだに発見されていない現状である。

ストロブマツの食害形態と被害

カバノキハムシの成虫の加害はストロブマツの新梢が10~15cm伸長した頃に現われ、基部から針葉の開針しない軟かい部分をはじめは縦状に、それが進むと輪状に表皮形成層を嘗るように加害し、激しいものは新梢が下垂してついには枯死させ頂梢のない不形成木にならしめる。加害位置は1年生樹梢に生じ2年生枝や木化した幹には加害していない。時には前年生針葉をも加害するがその程度は微々たるものである。1年生樹梢の軽微な加害は一時的に成長を粗悪にするが、新梢の成長とともに樹脂を分泌させてついには癒着する。寄生数が多くなると樹梢のみならず1年生枝

をも加害する。カバノキハムシの加害様式をループで観察すると、大腮で樹梢の表皮を挟むような形で樹液を吸収しているようにみうけられる。

被害程度は面積2.47haのうち中腹以上に多く発生し、被害本数1450本で全林分の22.6%であった。このうち樹梢の下垂により枯死したものは僅か28本(0.4%)で他の被害木は食痕を残す程度に回復している。

カバノキハムシはカバ類ヤナギ類シデ類などに寄生するものであるといわれているが、当被害林分周辺のシラカバ、ヤナギ等も観察したがその寄生は認められなかつた。

後記

ストロブマツに加害したカバノキハムシについて、その概要をあえて報告したが、今後の観察調査により是正すべきところは是正していきたいと思つている。(KK 新田帯革農林部)

文 献

- 1) 亀井専次, 松井善喜, 高橋 勇, 井上又太郎:
ストロブマツ 北方林業叢書 14
- 2) 江崎悌三, 他: 日本昆虫図鑑 北隆館

スギノハダニに強いスギと弱いスギ

長 谷 川 行 衛

(はしがき)

かつて苗畑の害虫と思われていた、スギノハダニは、近年では毎年発生を見るようになり、既にスギ造林地に必ず発生する被害の一つにあげられるようになった。

私は、さきに本紙73号(1958)で「異常発生をした、スギノハダニ」として発生経過と応急対策の状況を寄稿したが、その後、毎年発生するスギノハダニを防除指導または消長調査等を通じ調査している。その間、数あるスギの中にはスギノハダニの被害に強いものと、弱いものがあるのではないかと思われる事例を認めたので、その状況を記し御批判を得たい。

(気づいた経緯と考察)

スギノハダニの被害は5月下旬から6月頃になると顕著に見られるようになるため、各地から防除の相談をうける機会が多い。たまたま、ある造林地へ被害調査に趣いたところ、スギ幼令林が一斉に被害にかかり、黄褐色に変色している中に、変色もしないで、スギ特有の緑色を保っているス

ギが目についたので不審をいただき、種々調べて見た。このスギは同一の条件の造林地で、隣接のスギが被害にかかっているにもかかわらず、緑色でしかもダニの附着も少ないのである。そしてこの地域だけかどうか、その疑問を持ちながら他の造林地を調査して、同様のものを認めた。そこでスギの品種が異なることによつて、被害に軽重があることに気附いたわけである。すなわち、被害に弱い方のスギは針葉の角度が鈍角の品種で、表日本系または、暖地系とよばれる品種であること、また被害に強い方のスギは、針葉の角度が鋭角で、裏日本系あるいは寒耐系と呼ばれるスギであることが判明した。さらにその後、各地のスギ被害林を調査する一方、この両種の2年生苗を鉢植えにし、同一の条件で約2年位観察したところ次のような結果を得た。表日本系のものは、ダニの被害のため黄色に変色するとともに、下枝から枯れ、梢頭部だけが伸長するが、寒耐性のスギは変色も少なく、下枝も余り枯れないで正常に生育を続ける。このためこの方は木が大きくなり、鉢のとり替えを要するようになったが、表日本系の方は、



鋭角でダニ被害に強い



鈍角でダニ被害に弱い

1鉢は枯死してしまい、1鉢は細々と生きている状況である。なお2、30年生の壮令林について観察したが表日本系の方は、梢頭部の日当りのよい部分が被害のため黄色になるが、寒耐性のスギはこの被害が余り顕著に現われない。この原因として考えられることは、裏日本系のスギは針葉の表皮が堅いか、もしくは樹液の中にスギノハダニが好まない、ある種の成分が含まれているものではないか等の点である。しかし、全然被害にかからないわけではなく、同一の造林地で被害にかかってもその被害程度に著しい差があるのである。昭和35年7月16日調査の一例をあげると次のとおりである。

スギの枝各10cmを採取し、紙上振落し法で調べたところ、表日本系の枝からは237頭のダニが数えられたのに対し、裏日本系のものからは僅かに13頭を数えたに過ぎない。この調査は他の用務で出張した折にも度々試みているが、ダニの附着数に格段の差異があるのが常である。

裏日本系のスギの場合でも被害程度に差異のあることは、スギノハダニの習性と気象条件から当

然であるが、同じ造林地の場合、常に裏日本系の方が被害もダニの附着も少ない。この反対の場合つまり裏日本系のスギの被害が著しい品種もあるのではないかと考え、調査を続けているが、まだ反対の調査結果を得ていない。

このようなことから、このことは県内だけの傾向ではないであろうと思われたので、さきに開催されたSp.研修会の折、数県のSp.の方々に照会したところ、富山県の柴田Sp.の他一県でも同様な例があるとのことであつた。

数多いスギのことであるから品種別調査は容易にできることではないが、針葉の角度によつて判別することは比較的容易であるので調査観察をして見た次第であるが、前記したように表皮や樹液の相違によつて、スギノハダニに好みがあるとすれば、スギノハダニに強いスギ、弱いスギではなく、スギノハダニが好きなスギと嫌いなスギとがあるのではなからうかと考えられるが、どんなものであろう。

(新潟県林務課保護 Sp.)

森林防疫ニュース

情報

◇ 被害速報

病害

○ タケの開花病

発生の場所	被害程度	樹種令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
福岡 甘木市秋月町大字野鳥		メダケ 1~5年	面積 0.5ha 本数 8,000本	4.20	甘木農林事務所長 諸岡 知夫	

○ スギの赤枯病

岡山 英田郡西粟倉村大字長尾		スギ 2~3年	面積 0.2ha 本数 8,000本	6.27	第48森林区 Ag. 花田 恒男	Cercospora cryptomeriae 菌による。 特に下刈済の所に被害が大き く枯死又は枯死寸前である。
高知 安芸郡馬路村大字魚梁瀬		スギ 1~5年	面積 5ha 本数 4,500本	7.14	安芸森林区 Ag. 石川 素泉	

○ スギさし木苗の膨腫病

福岡 甘木市金川町大字中島田		スギ 1~5年	面積 0.1ha 本数 40,000本	3.1	甘木農林事務所長 諸岡 知夫	
----------------	--	---------	------------------------	-----	----------------	--

○ スギの枝枯菌核病

青森 下北郡東通村大字目名		スギ 10~30年	面積 2ha 本数 3,000本	7.29	田名部林務出張所長 堀江 一磨	前年生長の枝が褐変し灰黒色の菌核が形成されている。被害枝の伐除焼却をなす。
---------------	--	-----------	---------------------	------	-----------------	---------------------------------------

○ ヒノキのペスタロチヤ病

岡山 真庭郡落合町大字田原山上		ヒノキ 2年生苗	面積 0.01ha 本数 500本	6.1	落合町 丸山家津男	褐変している。ボルドー粉剤散布。
-----------------	--	----------	----------------------	-----	-----------	------------------

○ ヒノキの紫紋羽病

福岡 浮羽郡浮羽町大字妹川		ヒノキ 6~10年	面積 0.01ha 本数 30本	2.6	甘木農林事務所長 諸岡 知夫	枯死している。二硫化炭素にて土壤消毒をなす。
---------------	--	-----------	---------------------	-----	----------------	------------------------

○ マツの葉ふるい病

島根 鹿足郡六日市町大字七日市		アカマツ 5年	面積 0.15ha 本数 200本	7.7	県 吉岡 美城	
-----------------	--	---------	----------------------	-----	---------	--

○ カラマツの落葉病

島根 鹿足郡六日市町大字七日市		カラマツ 5年	面積 0.15ha 本数 200本	7.7	県 吉岡 美城	
-----------------	--	---------	----------------------	-----	---------	--

○ トドマツの葉さび病

北海道 空知郡栗沢町大字最上		トドマツ 6年	面積 1.5ha 本数 4,300本	7.6	道 Sp. 館山 一郎	針葉が黄色を呈している。
----------------	--	---------	-----------------------	-----	-------------	--------------

○ ナラタケ病

北海道 雨竜郡一巳村大字豊泉		カラマツ 8,9年	面積 24.46ha 本数 410本	7.22	道 Sp. 館山 一郎 佐々木雅人	小群状に発生枯死している。
----------------	--	-----------	-----------------------	------	----------------------	---------------

○ 褐ぼん病

三重 一志郡久居町大字稲葉		ヤシヤブ 2年	面積 1.2ha 本数 1,500本	7.14	久居林業事務所 林 徳治	葉面に黒褐色の斑点を生じ甚だしいものは落葉している。
---------------	--	---------	-----------------------	------	--------------	----------------------------

1960

森林防疫ニュース

○ キリのふらん病

発生場所	被害程度	樹種令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
三重 阿山郡阿山村大字横山		キリ 4年	面積 本数 1.5ha 300本	7.6	上野林業事務所 向 英一	枯死している。

虫害

○ 線虫(ネマトーダ)の1種

埼玉 東松山市大字松山		スギ 当年生苗	面積 本数 30m ²	7.5	岸野 繁	播種床に発生している。
-------------	--	------------	---------------------------	-----	------	-------------

○ トドマツオオアブラムシ

北海道 空知郡栗沢町字最上		トドマツ 6年	面積 本数 1.5ha 1,290本	7.6	道 Sp. 館山 一郎	一部 BHC 粉剤散布。
旭川局幾寅署幾寅事業区(空知郡南富良野村)		トドマツ 1~9年	面積 本数 67.41ha 5,993本	7.9	幾寅署長 石川 好巳	密棲し蟻と共生している。
		トドマツ 7年	面積 本数 1.5ha 850本	7.15	〃	活力衰え自然枯死のおそれがある。

○ カラマツミキオオアブラムシ

北海道 雨竜郡一巳村大字豊泉		カラマツ 5年	面積 本数 20.24ha 50,000本	7.22	道 Sp. 館山 一郎 佐々木雅人	重粘土地帯で蟻が多い。枝に付着加害している。
----------------	--	------------	-----------------------------	------	----------------------	------------------------

○ スギマルカイガラムシ

岡山 英田郡美作町大字中尾		スギ 6年	面積 本数 0.1ha 30本	7.5	美作農林事務所 都井仁三丸	採穂園に発生、針葉は黄変しつつある。
---------------	--	----------	-----------------------	-----	------------------	--------------------

○ キマダラコウモリ

福岡 久留米市山本町大字豊田		ヒノキ 6~10年	面積 本数 0.01ha 30本	3.12	甘木農林事務所長 諸岡 知夫	樹幹の地上1~5cmの間を環状に食害枯死せしめている。尾根筋及び平坦地に多い。
宮崎 熊本局小林署小林事業区(小林市大字細野)		スギ 3年	面積 本数 13.42ha 600本	7.14	小林担当区 園田 技官	

○ コウモリガ類の1種

秋田 秋田局上小阿仁署上小阿仁事業区(北秋田郡上小阿仁村南沢)		スギ 4~6年	面積 本数 25.2ha 125本	7.16	南沢担当区 小林 久男	地表面を輪状に食害し髓部に穿入上方に穿孔している。下刈をなし被害木を取廻め焼却する。
---------------------------------	--	------------	-------------------------	------	----------------	--

○ スギメムシガ

青森 十和田市大字深持		スギ 1~5年	面積 本数 13ha 325,000本	7.16	十和田林務出張所 杉村 忠雄	針梢部に穿入食害している。
福岡 甘木市秋月町大字高内		スギ 11~20年	面積 本数 1ha 2,500本	5.1	甘木農林事務所長 諸岡 知夫	
浮羽郡浮羽町大字小塩		スギ 1~5年	面積 本数 1ha 3,000本	7.5	〃	

○ ハイロアミメハマキ

福島 前橋局猪苗代署猪苗代事業区(耶麻郡北塩原村)		カラマツ 3~5年	面積 本数 1ha	7.28	小野川担当区 吉田 博	針葉を食害している。
---------------------------	--	--------------	--------------	------	----------------	------------

○ マツツマアカシムシ

森林防疫ニユース

発生 の 場所	被害 程度	樹 種 林 令	被 害 数 量	発見 月 日	情報提供者氏名	摘 要	
福 岡		アカマツ	面積 本数	0.01ha 55本	6.10	甘木農林事務所長 諸岡 知夫	被害芽の切断焼却をなす。
		1～5年					
		久留米市山本町 大字耳納	アカマツ	面積 本数	0.01ha 3本		
浮羽郡吉井町大 字富永		アカマツ	面積 本数	0.1ha 300本	7.10	〃	
○ テングハマキ							
北海道	上川郡新得町字 上佐幌	カラマツ	面積 本数	3ha 2,000本	7.13	道 Sp. 館山 一郎 木下 鉄士	新梢を綴り中に入つて新梢と 針葉を食害している。
○ マツノシンマダラメイガ							
岩 手	青森局水沢署種 山官造地(江刺 市伊手町)	アカマツ	面積 本数	16ha 12,000本	7. 6	伊手担当区 小笠原春藏	新梢の基部に穿入食害してい る。苗木に寄生していたもの と思われる。
○ マツカレハ							
秋 田	秋田局能代署能 代事業区(能代 市)	クロマツ	面積	73.31ha	7.一	能代担当区事務所	隣接地に発生消長調査地があ り、これより拡大発生したも のと思われる。
石 川	珠洲市片岩町	クロマツ	面積 本数	1ha 4,000本	7.27	珠洲市 Ag. 頼光 勇	成育良好な林分である。
滋 賀	彦根市中島町	ヒマラヤシ ーダ 15年	本数	20本	7.13	彦根県事務所 田中文次郎	庭園樹に発生し、老化幼虫が 見られる。
岡 山	川上郡備中町大 字布賀	アカマツ	本数	2本	6.13	備中町 Ag. 酒本 裕士	庭園樹に発生、BHC γ 3% 粉剤散布。
	英田郡美作町大 字檜原	アカマツ	面積 本数	2ha 20本	6.17	美作農林事務所 Ag. 富坂 晋	針葉を食害している。
福 岡	三井郡善導寺町 大字与田	アカマツ	面積 本数	1.51ha 600本	5.20	甘木農林事務所長 諸岡 知夫	燻煙剤及び BHC γ 3% 粉剤 で防除。
	浮羽郡浮羽町大 字小塩	アカマツ	面積 本数	8.74ha 32,000本	6. 1	〃	BHC γ 3% 粉剤散布。
	浮羽郡吉井町大 字富永	アカマツ	面積 本数	6.84ha 18,000本	6.10	〃	〃
○ ハラアカマイマイ							
京 都	中郡峰山町大字 新山	モ ミ	面積 本数	0.3ha 30本	6.28	峰山町 藤原 初雄	神社の境内林に発生。針葉を 食害している。
和歌山	日高郡中津村大 字三佐	モ ミ	面積 本数	0.5ha 30本	5.10	中津村 Ag. 高台 敏一	針葉を食害している。
○ クスサン							
岡 山	上房郡賀陽町大 字陽山	ク リ	面積 本数	0.3ha 90本	6.24	第83森林区 Ag. 河田 清夫	全葉を食害している。
○ スギハムシ							
静 岡	東京局浜松署浜 松事業区(引佐 郡三ヶ日町)	アカマツ クロマツ	面積 本数	1ha 500本	7.12	三ヶ日町 小田倉繁松	
奈 良	生駒郡生駒町大 字俵口	アカマツ クロマツ	面積 本数	80ha 48,000本	7.25	県 Sp. 村田 武彦	針葉を食害している。
和歌山	大阪局高野署高 野事業区(那賀 郡岩出町)	クロマツ	面積 本数	20ha 60,000本	8. 3	高野署 山本 丈夫	

森林防疫ニュース

発生場所	被害程度	樹種令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
島根	大原郡木次町大字日登	アカマツ 2年	面積 1.5ha 本数 6,000本	7.4	県 吉岡 美城	当年生新梢の針葉を食害している。
	能義郡布部村大字布部	アカマツ 4~6年	面積 50ha 本数 150,000本	7.7	〃	〃 BHC γ 1% 粉剤散布。
	大原郡大東町大字上久野	アカマツ 6年	面積 7ha 本数 21,000本	7.8	〃	当年生新梢の針葉を食害している。
	仁多郡仁多町大字三成	アカマツ 5年	面積 2ha 本数 6,000本	7.8	〃	〃
	仁多郡仁多町大字佐白	アカマツ スギ 3年	面積 5ha 本数 15,000本	7.8	〃	〃
	仁多郡仁多町大字佐白大原山	アカマツ スギ 4~7年	面積 15ha 本数 45,000本	7.8	〃	〃
	能義郡布部村大字布部	アカマツ 2年	面積 3ha 本数 9,000本	7.9	〃	〃
	邑智郡邑智町大字志君	アカマツ 2~9年	面積 100ha 本数 330,000本	7.18	〃	本年初めて発生。DDT, マラソン粉剤散布。
	邑智郡邑智町大字湯抱	アカマツ 4年	面積 3ha 本数 9,000本	7.25	〃	特に通風日照の良い陵線に被害が大きい。
	大阪局川本署川本事業区(邑智郡大利村長藤)	アカマツ 7年	面積 0.1ha	7.15	大利村 錦織 澄人	中腹より峯に亘るアカマツの針葉を群状に食害している。
鳥取	西伯郡中山町大字羽田井	アカマツ 2年	面積 6.8ha 本数 20,000本	7.13	西部山林事務所 森脇源八郎	針葉を食害し赤変している。
	大阪局津山署津山事業区(英田郡美作町)	スギ 2~3年	面積 4ha 本数 12,000本	6.20	作東担当区 吉迫 一郎	
福岡	大阪局岡山署岡山事業区(和気郡日生町)	クロマツ 5年	面積 2ha 本数 6,000本	6.25	裳掛担当区 大藏 敬二	BHC γ 1% 粉剤 1ha 当り 30kg 散布。
	浮羽郡浮羽町大字山北	アカマツ 6~20年		7.10	甘木農林事務所 諸岡 知夫	BHC γ 3% 粉剤散布。
	久留米市草野町大字吉木	スギ, ヒノキ 1~5年	面積 3ha 本数 9,000本	7.28	〃	
佐賀	久留米市草野町大字吉木	スギ 21~30年	面積 0.3ha 本数 900本	7.28	〃	
	鳥栖市大字山浦	スギ, ヒノキ 2~4年	面積 16ha 本数 52,000本	7.1	県 池田源次郎	県行造林地に発生。過去昭和32年に発生したヶ所である。
	多久市北多久町大字小侍	スギ 5~6年	面積 3ha 本数 1,500本	7.14	中部農林事務所 Ag. 松尾 保則	
鹿児島	佐賀郡大和町大字川上	スギ, アカマツ 6年	面積 3ha 本数 7,000本	7.19	県	
	始良郡横川町大字下ノ	クロマツ 5~8年	面積 1ha 本数 3,000本	6.10	県 Sp. 川畑 克巳	
	始良郡牧園町大字高千穂	マツ 1~7年	面積 64ha 本数 291,000本	6.27	牧園町 Ag. 中山 政照	町有林に発生。BHC γ 1% 粉剤 10a 当り 7kg 散布。
	始良郡栗野町吉松町	マツ, スギ 5~20年	面積 300ha 本数 290千本	7.4	栗野町 Ag. 増田 政武	まんえんの徴候にあり。BHC 散布。
○ ハンノキハムシ						
滋賀	野洲郡野洲町大字大篠原	ヤシヤブシ ヒメヤシヤブシ 2~7年	面積 15ha	7.14	県 土屋 技師	せき悪林改良事業地の樹葉を食害している。
○ ドロノキハムシ						
岡山	勝田郡勝央町大字植月東	ポプラ 2年	面積 0.3ha	6.25	第45森林区 Ag. 井上 悦甫	苗畑に発生。葉を食害している。

森林防疫ニュース

○ キリノイボゾウムシ

発生場所	被害程度	樹種令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
岡山 高梁市津川町大字今津		キリ 2~5年	面積 3ha 本数 2,600本	6.1	高梁農林事務所 牧 真吾	樹葉の葉脈を残し食害している。
山口 阿武郡旭村大字明木		キリ 1年	面積 0.2ha 本数 30本	6.29	旭村 Ag. 田中 満泰	〃 BHC 粉剤散布。

○ マツキボシゾウムシ

三重 南牟婁郡御浜町		マツ 2~5年	面積 0.5ha 本数 1,500本	5.30	御浜町 西 義彦	BHC 剤散布。
------------	--	---------	-----------------------	------	----------	----------

○ マツシラホシゾウムシ

宮崎 熊本局小林署小林事業区(小林市細野)		アカマツ 120年	面積 0.5ha 本数 6本 材積 18m ³	7.6	小林担当区 園田 技官	比較的老衰木に発生している。立木処分駆除。
-----------------------	--	-----------	--	-----	-------------	-----------------------

○ マツノキクイムシ

秋田 秋田局能代署能代事業区(能代市)		クロマツ 150年	面積 1.17ha 本数 117本 材積 49m ³	6.21	能代担当区事務所	老令に加え潮風により衰弱したものに穿孔枯死。
山梨 北都留郡上野原町大字甲東		アカマツ 10年	面積 0.1ha 本数 30本 材積 2m ³	7.25	第22森林区 Ag. 羽中田定彦	
高知 高知局清水署清水事業区(土佐清水市松尾)		クロマツ 50~70年	面積 57.61ha 本数 20本 材積 7.1m ³	6.25	足摺担当区 川村 卓	伐倒剥皮焼却及び薬剤散布。

○ マツノコキクイムシ

三重 名張市大字下北奈知		アカマツ クロマツ 20~45年	面積 25ha 本数 37,500本 材積 700m ³	8.1	名張市 中野 恵生	せき悪林地の松林の若い枝条に穿孔。激地は枯死状を呈している。
--------------	--	------------------	---	-----	-----------	--------------------------------

○ トドマツキクイムシ

北海道 静内郡静内町字西川		トドマツ 25~150年	面積 40ha	7.7	道 Sp. 館山 一郎	台風風倒地の生立木に発生。立木駆除。
---------------	--	--------------	---------	-----	-------------	--------------------

○ ハンノキクイムシ

島根 大田市野城町		クリ 6年	面積 0.2ha 本数 10本	6.26	県 吉岡 美城	天敵と思われる小蜂が発生し捕食しているのが見られる。
岡山 御津郡御津町		クリ 5,6年	面積 0.2ha 本数 7本	5.8	岡山農林事務所 Ag. 橋本 昇	地下水の高い所に植栽された衰弱木に多い。

○ マツシラホシゾウムシ

○ マツノキクイムシ

福岡 久留米市高良内町大字高良内		アカマツ 11~20年	面積 1.5ha 本数 30本 材積 2.3m ³	4.5	甘木農林事務所長 諸岡 知夫	
久留米市山本町大字耳納		アカマツ 31~40, 71~80年	面積 1.03ha 本数 25本 材積 48.57m ³	4.5	〃	

○ 松くい虫

長野 長野局岩村田署岩村田事業区(北佐久郡御代田町)		アカマツ 8~11, 50~80年	面積 67ha 本数 28,750本 材積 15,000m ³	7.15	御代田担当区 丸山 末人	生立木の若枝に穿入し枯死している。
----------------------------	--	-------------------	--	------	--------------	-------------------

1960

森林防疫 ニ ュ ー ス

○ オオスジコガネ

発生 の 場所	被害程度	樹 種 令	被 害 数 量	発見 月日	情報提供者氏名	摘 要
北海道 旭川局金山署金山苗畑(空知郡南富良野村)		エゾマツ トドマツ 2年生苗	面積 4,649㎡ 本数 35,000本	7. 3	金山苗畑事業所 高橋 覚	幼虫が食害。BHC γ 3% 粉剤ha当り 3~5 kg, 2 硫化炭素㎡当り 8~10 g, アルドリッ乳剤を使用。捕殺も行う。
宮 城 名取市大字愛島字笠島		カラマツ 7 年	面積 1ha 本数 3,000本	7.22	県 Sp. 早坂 義雄	針葉を食害。甚だしいのは全葉を食害されている。
長 野 上伊那郡高遠町大字藤沢		カラマツ 3~6年	面積 60ha	7.11	上伊那地方事務所 浦野 Ag. 守治	多発のおそれがある。
		カラマツ 3~10年	面積 120ha	7.18	〃	
		カラマツ 7~12年		8. 1	金沢担当区 折橋 衛	20ha発生しているが大きな被害はない。
三 重 名張市大字布生		ス ギ 7 年	面積 5ha 本数 10,000本	7.28	上野林業事務所 山路五良四郎	1 本に 10 匹位で針葉を食害している。
和歌山 東牟婁郡古座川町, 古座町		ス ギ 5~10年	面積 200ha 本数 120,000本	7. 1	第IX森林区 Ag. 平 亮	枝葉を集団で食害。生育を阻害している。
島 根 邑智郡邑智町大字志君		アカマツ スギ 9年	面積 5ha 本数 15,000本	7.18	県 吉岡 美城	針葉を食害している。
		ス ギ 3~8 年	面積 10ha 本数 14,000本	7.29	〃	〃
		スギ, アカ マツ 25年	面積 2ha 本数 3,500本	8. 1	〃	〃
岡 山 和気郡備前町大字伊部		アカマツ 15~30年	面積 0.05ha 本数 45本	7. 1	第 69 森林区 Ag. 尾高 仁	〃
広 島 比婆郡比和町大字森脇		ス ギ 4~8年	面積 2ha 本数 6,000本	7.27	第 29 森林区 Ag. 定木 達雄	〃
山 口 玖珂郡錦町大字深川		ス ギ 5~10年	面積 1ha 本数 3,000本	7.20	錦町 原田 郁郎	枝葉の先端部を食害している。
熊 本 天草郡天草町大字下田北		ス ギ 10年	面積 0.2ha 本数 700本	7. 7	天草町 岩野 典大	〃

○ スジコガネ

岩 手 青森局水沢署種山官造地(江刺市伊手)		カラマツ 2 年	面積 10ha 本数 10,000本	7.20	伊手担当区 小笠原春蔵	初めての被害である。
青森局水沢署阿原山官造地(江刺市伊手)		カラマツ 1~5年	面積 20ha 本数 40,000本	7.26	〃	

○ コガネムシ科の1種

滋 賀 伊香郡西浅井村余呉村		ス ギ 4~15年	面積 5ha 本数 7,000本	7.22 ~21	長浜県事務所 Ag. 滝沢庄次郎	下枝には被害がなく中より上方に被害がある。
-------------------	--	--------------	---------------------	-------------	---------------------	-----------------------

○ マツノキハバチ

北海道 帯広局弟子屈署弟子屈事業区(川上郡弟子屈町)		ハイマツ	面積 5ha	7.18	弟子屈署	国立公園内のハイマツに群棲して当年伸長の針葉を食害している。
岩 手 北上市口内町大字飛		アカマツ 3~5年	面積 6ha 本数 70,000本	6.21	北上農林事務所 鈴木 三蔵	群棲して針葉を食害し枯死せしめる。BHC 粉剤散布。

- ハイイロアミメハマキ
- カラマツマダラメイガ
- マツノミドリハバチ

森林防疫ニュース

発生場所	被害程度	樹種令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
栃木 前橋局宇都宮署日光事業区(日光市日光)		カラマツ 30年	面積 2ha 本数 1,400本	7. 2	菖浦浜担当区 伴 信吉	枝葉を食害。枯死のおそれはないがまん延の傾向あり。
○ クリタマバチ						
岩手 北上市口内町大字大越田		ク リ 30~50年	面積 1ha 本数 30本 材積 50m ³	6.27	北上農林事務所 鈴木 三藏 松田利惣治	ゴールが少量ついている。
陸前高田市米崎町		ク リ 10~40年	面積 100ha 本数 2,000本	7.25	陸前高田市 村上 恒二	
福岡 浮羽郡浮羽町大字妹川		ク リ 11~20年	面積 1ha 本数 100本	5. 1	甘木農林事務所 諸岡 知夫	被害枝の伐除焼却をなす。
甘木市上秋月町大字江川		ク リ 6~10年	面積 0.5ha 本数 50本	5.10	〃	〃
○ スギタマバエ						
青森 青森局市浦署相内苗畑(北津軽郡市浦村)		ス ギ 23年	面積 40m ² 本数 40本	7. 2	相内苗畑事業所 川口 定一	採穂林に発生。幼虫が見られる。BHC γ 3% 粉剤散布。
青森 青森局蟹田署高石股苗畑(東津軽郡蟹田町)		ス ギ 10~25年	面積 0.4ha 本数 5,000本	7.20	蟹田署長 佐藤 慶雄	スギ台木に発生。33年7月発生した所である。
○ マツバノタマバエ						
島根 周吉郡西郷町大字中町		クロマツ 20年	面積 60ha 本数 80,000本	7.20	県 吉岡 美城	当年生の新梢にゴールを形成している。
佐賀 小城郡牛津町大字上砥川		アカマツ 5~6年	面積 0.3ha 本数 200本	7. 4	中部農林事務所 Ag. 松尾 保則	
○ マツカレハ						
○ マツノシントメタマバエ						
滋賀 大津市石山南郷町		マ ツ 5~40年	面積 2ha	7.22	県 土屋 要	被害は激害である。
○ スギノハダニ						
宮城 白石市白川大字津田		ス ギ 2~12年	面積 14.5ha 本数 58,500本	6. 2	白石市 Ag. 猪野今朝松	
本吉郡津山町		ス ギ 1~10年	面積 360ha 本数 1,080千本	6. 一	津山町 Ag. 芦田 栄一	激害 45ha, 中害 145ha, 微害 170haである。
茨城 久慈郡大子町大字西国		ス ギ 2~3年	面積 2.4ha 本数 8,640本	6.27	大子町 Ag. 佐川 裕次	変色している。
福井 勝山市鹿谷町大字矢戸口		ス ギ 7~8年	面積 3ha 本数 4,200本	7.19	勝山市 Ag. 秦 嘉六	針葉は黄変している。
勝山市勝山字奥山		ス ギ 4~15年	面積 5ha 本数 15,000本	7.21	勝山市 水上 喜六	
愛知 南設楽郡鳳来町大字愛郷		ス ギ 10年	面積 1ha 本数 3,000本	7.10	鳳来寺森林組合 安藤 光和	32年に発生駆除したが本年再度発生した。
南設楽郡鳳来町大字門谷		ス ギ 3年	面積 2ha 本数 6,000本	7.25	〃	針葉が黄変している。
三重 尾鷲市賀田大字うば山		ス ギ 7年	面積 5ha 本数 30,000本	5.30	南輪戸森林組合	谷川のスギを中心に周囲のヒノキにも発生している。
尾鷲市賀田大字羽後		ス ギ 3年	面積 1ha 本数 10,000本	6. 1	〃	〃
尾鷲市賀田大字比叡山		ス ギ 5年	面積 1.5ha 本数 10,500本	6.10	〃	〃

森林防疫ニュース

発生 の 場所	被害 程度	樹 林 種 令	被 害 数 量	発 見 月 日	情 報 提 供 者 氏 名	摘 要
三 重		尾鷲市賀田大字馬山	ス ギ 面積 1ha 本数 7,000本	6.10	南輪戸森林組合	針葉が褐変している。
		尾鷲市賀田大字八ヶ崩	ス ギ 面積 1ha 本数 7,000本	6.10	〃	
		尾鷲市大宇行野	スギ, ヒノキ 3~5年 面積 62ha 本数 378,000本	7.一	尾鷲林業事務所 成則	
滋 賀		高島郡今津町大字梅原	ス ギ 面積 2ha 本数	8. 1	今津県事務所 八田 知昭 吉村 誠祐	やや褐変し生育を阻害している。
		愛知郡愛東村大字百済寺	ス ギ 面積 10ha 本数	8. 2	彦根県事務所 水野幸三郎	水源かん養林のスギ針葉が黄褐色を呈している。DN粉剤散布。
島 根		簸川郡佐田村大字原田	ス ギ 面積 5ha 本数 15,000本	6. 8	県 吉岡 美城	当年生伸長の新梢特に主幹部の針葉は黄白色に変つている。新梢は黄白色に変色している。DN粉剤散布。針葉は黄変している。
		大原郡大東町大字上久野	ス ギ 面積 5ha 本数 15,000本	7. 8	〃	
		仁多郡仁多町大字高田	ス ギ 面積 2ha 本数 6,000本	7. 8	〃	
		大原郡大東町大字上久野	ス ギ 面積 2ha 本数 6,000本	7. 8	〃	
		仁多郡仁田町大字佐白	アカマツ スギ 6年 面積 3ha 本数 9,000本	7. 8	〃	DN粉剤散布。
		大阪局川本署川本事業区(邑智郡桜江町)	ス ギ 面積 40ha 本数 60,000本	7.11	川越担当区 今田 実夫	針葉が黄変している。
		岡 山		高梁市大字松山字下山	ス ギ 面積 0.1ha 本数 50本	6.10
勝田郡勝央町勝北町	ス ギ 面積 5ha			6.14	第45森林区 Ag. 井上 悦甫	採穂園に発生している。
英田郡西栗倉村大字長尾	ス ギ 面積 0.1ha			6.27	第48森林区 Ag. 花田 恒男	苗畑の苗木に発生。生色を失い黄変している。
高 知		吾川郡池川町大字瓜生野	ス ギ 面積 0.5ha 本数 1,500本	7.11	池川町林業相談所 武内 末治	北又は北東の中腹に多い。薬剤散布。 南又は南東の中腹に多い。薬剤散布。
		高知局川崎署川崎事業区(幡多郡西土佐村)	ス ギ 面積 4.5ha	7.19	藤の川担当区 松尾 雅夫	
			ス ギ 面積 9.5ha	7.20	〃	
福 岡		朝倉郡宝珠山村大字宝珠山	ス ギ 面積 4.5ha 本数 11,150本	4.20	甘木農林事務所長 諸岡 知夫	DN粉剤散布。
		甘木市上秋月町大字江川	ス ギ 面積 2ha 本数 6,000本	6.15	〃	
		甘木市秋月町大字野島	ス ギ 面積 1.5ha 本数 5,000本	6.20	〃	
		甘木市甘木町大字菩提寺	ス ギ 面積 0.1ha 本数 200本	7. 1	〃	
佐 賀		伊万里市松浦町大字中野原	ス ギ 面積 0.5ha 本数 1,300本	7.19	伊万里市 中島 勝市	針葉は赤変している。
熊 本		菊池市大字原	ス ギ 面積 67.7ha	6.10	菊池市 Ag. 中川 学	針葉は黄褐変し生育を阻害している。殺ダニ剤散布。

獣 害

○ ノネズミ

青 森	青森局鱒ヶ沢署鱒ヶ沢事業区(西津軽郡鱒ヶ沢町)	ス ギ 面積 110ha 本数 138,200本	1~5年	5. 4	芦菴担当区 渡部 和雄
-----	-------------------------	-----------------------------	------	------	-------------

森林防疫ニュース

発生場所	被害程度	樹種令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
青森 青森局黒石署黒石事業区(南津軽郡平賀町)		スギ 5年	面積 1.3ha 本数 1,900本	5.8	平賀町 藤田 哲夫	地上5cm位より上部の樹皮を食害している。
青森局鱒ヶ沢署鱒ヶ沢事業区(西津軽郡鱒ヶ沢町)		アカマツ 4年	面積 3ha 本数 13,511本	5.9	小森担当区 山田 徹治	地表から1~2cmの直根樹皮を食害、直根5~8cmを残して細根を全部食い尽している
青森局脇野沢署脇野沢事業区(下北郡川内町)		カラマツ 2年	面積 0.43ha 本数 1,315本	5.10	蠣崎担当区 佐々木信夫	地際より5cm位の幹の周囲を食害している。4~6本群状で全般に点在している。
		カラマツ 4年	面積 0.31ha 本数 937本	5.10	〃	〃
南津軽郡平賀町大字葛川		カラマツ 3年	面積 10ha 本数 25,000本	5.19	黒石林務出張所 Ag. 南館 昌	根及び樹幹の1/2程度のところまでの樹皮を食害している
青森局大畑署大畑事業区(下北郡大畑町)		スギ、ヒバ カラマツ 4~6年	面積 6ha 本数 623本	5.24	大畑署 沢田徳太郎	根及び樹幹の樹皮を食害し、特に根元から地上30cm位の間は食害が基だしい。
弘前市大字米ヶ袋		スギ 9年	面積 0.5ha 本数 70本	5.30	弘前林務出張所	樹幹枝の樹皮が食害され枯損しているものもある。
青森局黒石署黒石事業区(南津軽郡平賀町)		カラマツ 5年	面積 5.1ha 本数 16,750本	6.13	平賀町 小野寺圭喜	〃
青森局大畑署大畑事業区(下北郡大畑町)		クヌギ 2年	面積 3.53ha 本数 2,770本	6.13	大畑町 向井 幸男	根部を食害され枯死している。
中津軽郡西目屋村大字大秋		スギ 5年	面積 0.3ha 本数 150本	7.1	弘前林務出張所	〃
中津軽郡西目屋村大字田代		スギ 7年	面積 0.2ha 本数 60本	7.7	〃	樹幹枝の樹皮を食害され枯死するものもある。
西津軽郡鱒ヶ沢町大字芦菴		カラマツ 2~7年	面積 2ha 本数 6,000本	7.7	〃	〃
西津軽郡鱒ヶ沢町大字芦菴		スギ 2~7年	面積 12ha 本数 36,000本	7.7	〃	〃
上北郡十和田町大字法量		カラマツ 5~10年	面積 1ha 本数 2,500本	7.21	十和田林務出張所 杉村 忠雄	〃
岩手 青森局川尻署川尻事業区(和賀郡湯田村)		カラマツ 3年	面積 5.62ha 本数 2,800本	5.20	元屋敷担当区 佐藤 政利	根元を食害している。
青森局川尻署川尻事業区(和賀郡湯田村)		カラマツ 4年	面積 0.8ha 本数 400本	6.3	〃	〃
		カラマツ 5年	面積 4.71ha 本数 4,300本	6.3	〃	〃
		カラマツ 3年	面積 2ha 本数 1,300本	6.3	〃	〃
		カラマツ 4年	面積 4.93ha 本数 3,700本	6.3	〃	〃
		カラマツ 4年	面積 4.02ha 本数 3,420本	6.4	〃	〃
		スギ 8年	面積 1ha 本数 1,500本	6.4	〃	〃
青森局北上署北上事業区(和賀郡和賀町)		スギ 3年	面積 0.01ha 本数 83本	6.20	和賀町 五十嵐考悦	西向傾斜の造林木の樹幹皮を食害している。
青森局岩泉署岩泉事業区(下閉伊郡岩泉町)		カラマツ 5年	面積 1.85ha 本数 1,176本	6.30	釜津田担当区 高橋 秀治	点状に根際より頂芽までの樹皮を食害している。
青森局水沢署水沢事業区(胆沢郡胆沢村)		クヌギ 2年	面積 5ha 本数 11,000本	7.13	愛宕担当区 金沢 達二	植付後直ちに発生し、殺鼠剤を散布防除につとめたが被害をみた。

森林防疫 ニ ュ ー ス

発生 の 場所	被害程度	樹 種 令	被 害 数 量	発見 月日	情報提供者氏名	摘 要
岩 手	青森局今別署今別事業区(東津軽郡今別町)	スギ カラマツ 1~5年	面積 5.8ha	5.20	今別町 須藤陸奥政	
宮 城	青森局気仙沼署気仙沼事業区(本吉郡志津川町)	3~4年	面積 8.88ha 本数 800本	5.12	戸倉担当区 小岩 喜一	下刈を行い、殺鼠剤使用。
	青森局気仙沼署釜石下官造地(本吉郡唐桑町)	アカマツ 3年	面積 3.88ha 本数 450本	5.14	唐桑担当区 加藤 公男	生育良好な場所で、枯損している。
	青森局仙台署仙台事業区(柴田郡川崎町)	カラマツ 3年	面積 0.9ha 本数 2,000本	5.25	仙台署	地上3~20cmの部分を食害している。殺鼠剤散布。
秋 田	秋田局能代署沢田官造地(山本郡峯浜村)	スギ 12, 22年	面積 16.3ha		能代担当区	樹皮を食害している。
	秋田局花輪署熊沢事業区(鹿角郡八幡平村)	スギ 5年	面積 1.79ha 本数 4,455本	4.20	長内担当区 菅原 克巳	南西の平坦又は緩斜地に発生。根元より梢端近くまで食害している。
		スギ 5年	面積 2.5ha 本数 7,480本	4.20	〃	沢沿いで、根元より梢端近くまで食害している。
		スギ 6年	面積 2.5ha 本数 3,350本	4.27	〃	〃
	秋田局花輪署熊沢事業区(鹿角郡八幡平村)	カラマツ 7年	面積 1.15ha 本数 620本	5.1	〃	沢沿いで、根元より梢端まで食害している。
	秋田局米内沢署米内沢事業区(北秋田郡森吉町)	スギ 2~11年	面積 103.05ha 本数 79,844本	5.1	湯の岱担当区 佐々木 勉	樹皮が食害され枯死している。
	秋田局本荘署仁賀保官造地(由利郡仁賀保町)	スギ 5年	面積 4ha 本数 60,000本	5.6	仁賀保町 浅間 茂慶	根元より地上10cmの間の樹皮及び根部を食害され枯損転倒しているものもある。
	秋田局花輪署熊沢事業区(鹿角郡八幡平村)	スギ 6年	面積 1.58ha 本数 3,800本	5.8	長内担当区 菅原 克巳	北東の平坦又は緩斜地に発生している。
		スギ 7年	面積 0.93ha 本数 680本	5.10	〃	沢沿いで根元より梢端近くまで食害している。
	秋田局増田署堂ノ上官造地(平鹿郡山内村)	カラマツ 2年	面積 38ha 本数 1,500本	5.12	山内担当区 国安 彰	食害をうけ枯死している。
	秋田局大曲署大曲事業区(仙北郡太田村)	カラマツ 4年	面積 2ha 本数 1,010本	5.12	長信田担当区 菅原 昭三	隣接にスギを植栽してあるがスギには被害がない。枯死796本である。
	秋田局本荘署本荘事業区(由利郡仁賀保町)	カラマツ 4年	面積 12.87ha 本数 4,830本	5.13	象潟担当区 長谷川孝二	樹皮を食害している。
	秋田局角館署大羅迦内沢官造地(仙北郡西木村)	カラマツ 1~3年	面積 21.48ha 本数 8,386本	5.14	西明寺担当区 作山 鉄郎	根際より約30cmの間を食害している。
	秋田局角館署角館事業区(仙北郡西木村)	カラマツ スギ 1~4年	面積 10.51ha 本数 1,431本	5.16	〃	〃
	秋田局早口署早口事業区(北秋田郡田代町)	スギ 4~8年	面積 88.4ha 本数 17,992本	5.19	田代町 桜田 大	樹幹皮を食害され附近に鼠糞がある。
	秋田局大曲署大曲事業区(仙北郡太田村)	スギ 5~8年	面積 6.55ha 本数 4,211本	5.24	千畑村 三浦 亮三	樹幹枝の樹皮が食害され根には被害がみられない。
		スギ 4~13年	面積 4.68ha 本数 3,176本	5.24	〃	〃

森林防疫ニュース

発生場所	被害程度	樹種令	被害数量	発見月日	情報提供者氏名	摘要
秋田	秋田局大曲署大曲事業区(仙北郡太田村)	スギ 9年	面積 1.99ha 本数 1,310本	5.24	千畑村 三浦 亮三	樹幹枝の樹皮が食害され根には被害がみられない。
		スギ 6~10年	面積 10.75ha 本数 4,596本	6.4	〃	〃
		スギ 8~15年	面積 7.53ha 本数 2,153本	6.4	〃	〃
		スギ 5~13年	面積 10.49ha 本数 14,646本	6.24	千屋担当区 野呂 昭三	〃
	秋田局大曲署大曲事業区(仙北郡千畑村)	スギ	面積 3.93ha 本数 5,066本	6.4	千畑村 三浦 亮三	〃
	秋田局大曲署大曲事業区(仙北郡六郷町)	カラマツ 3~4年	面積 7.87ha 本数 12,656本	5.30	千屋担当区 野呂 昭三	〃
	秋田局五城目署五城目事業区(南秋田郡五城目町)	カラマツ 3~6年	面積 6.14ha 本数 101本	6.10	五城目町 豊間 康	根元より梢端まで食害している。
	秋田局花輪署熊沢事業区(鹿角郡八幡平村)	スギ 7年	面積 1.32ha 本数 1,220本	6.10	長内担当区 菅原 克巳	根際もしくは梢端近くまで食害している。
		スギ 8年	面積 4.95ha 本数 4,550本	6.10	〃	〃
		スギ 9年	面積 1.08ha 本数 780本	6.10	〃	〃
スギ 12年		面積 1.07ha 本数 235本	6.10	〃	〃	
秋田局大曲署大曲事業区(仙北郡太田村)	カラマツ 5年	面積 1ha 本数 320本	7.7	長信田担当区 菅原 昭三	〃	
	スギ 23~25年	面積 23.07ha 本数 4,439本	7.18	〃	雪のため倒伏した根曲りの部分を食害している。フラートル散布。	
山形	秋田局真室川署真室川事業区(最上郡真室川町)	スギ 3,5,17年	面積 4.55ha 本数 204本		大滝担当区 松尾 清一	根際より地上1m位まで食害され大半が枯死している。
	秋田局鶴岡署鶴岡事業区(東田川郡朝日村)	スギ 9年	面積 3.66ha 本数 2,588本	4.4	大鳥担当区 田沢 光夫	樹幹枝の樹皮を食害され甚だしいものは梢端まで食害されている。
	秋田局鶴岡署鶴岡事業区(東田川郡立川町)	スギ 8,9,30年	面積 35.64ha 本数 4,279本	4.13	工藤沢担当区 畠山 芳美	沢沿いの林分で根元又は上部の樹皮を食害している。
		カラマツ 6,7,10年				
	秋田局鶴岡署大鳥事業区(東田川郡朝日村)	スギ 14~17年 カラマツ 3~7年	面積 16.72ha 本数 985本	4.30	朝日村 鷲 富治	樹皮を食害している。
		カラマツ 5~7年	面積 20.98ha 本数 7,951本	5.11	〃	沢沿いの林分で根部樹皮を食害し枯死しつつある。
	秋田局真室川署真室川事業区(最上郡金山町)	スギ 5~8年	面積 20.28ha 本数 800本	5.12	金山担当区 今野 運二	〃
	秋田局真室川署真室川事業区(最上郡真室川町)	スギ 3~18年	面積 50ha	5.13	高坂担当区 諸越幸四郎	〃
秋田局鶴岡署鶴岡事業区(東田川郡羽黒町, 櫛引村)	スギ 4~8年 カラマツ 5~9年	面積 147.27ha 本数 14,871本	5.13	泉担当区 太田 弘七	凹地或いは斜地に沿う台地に発生している。特にスギは根元より梢端まで食害されている。	

森林防疫ニュース

発生 の 場所	被害 程度	樹 種 令	被 害 数 量	発見 月日	情報提供者氏名	摘 要	
山 形	秋田局真室川署 真室川事業区 (最上郡真室川 町)	スギ 9年	面積 本数	1ha 18本	5.14	及位担当区 斎藤 信雄	根元より樹皮を食害している。
		クワ 18年					
		スギ 7~8年	面積 本数	0.2ha 53本	5.16	叶水担当区 藤島 宏治	比較的平坦地のスギに発生。 根元及び樹高の半分位までの 樹皮を食害している。
		スギ 6~9年	面積 本数	8.03ha 1,451本	5.18	小国町 安部 竜治	中腹より沢沿いに被害が多 い。樹皮を食害している。
		スギ カラマツ 5~8,19年	面積 本数	20.1ha 2,472本	5.21 ~24	田麦俣担当区 富樫 一雄	根際から 30cm位の処より上 の樹皮が食害されている。
		カラマツ 1年	面積 本数	20m ² 123本	6.7	〃	山元仮植の苗木の根部を食害 されている。
福 島	伊達郡川俣町大 字鶴沢	スギ 5年	面積 本数	31.53ha 9,190本	6.14	〃	2年生の植栽木は樹皮及び梢 端を食害されている。
		スギ カラマツ 2~4年					
		アカマツ 2年	面積 本数	0.5ha 100本	5.25	川俣町 Ag. 添田 幹男	環状に根元を食害され枯死し ている。
長 野	長野局大町署中 土官造地(北安 曇郡小谷村)	スギ 30年	面積 本数	30ha 50,000本	5.17	小谷担当区 西尾 勝重	積雪のため倒伏していたのを あらゆるカ所の樹皮を食害し ている。
		カラマツ 4~5年					
岡 山	新見市千屋大字 鈴上奥	ヒノキ 5年	面積 本数	0.1ha 220本	6.18	第13森林区 Ag. 光井 琢磨	地上 3~4cmの所より樹皮を 食害している。
		ヒノキ 5年	面積 本数	2ha 3,000本	5.16	第46森林区 Ag. 横尾 幹夫	根元周囲の樹皮を食害枯死し ている。殺鼠剤散布。
		ヒノキ,カ ラマツ5年	面積 本数	2ha 6,000本	7.5	新見農林事務所 難波 茂一	

○ ノウサギ

北海道	旭川局下川署下 川事業区(上川 郡下川町)	カラマツ 1年	面積 本数	12.2ha 6,100本	7.13	下川署長 近藤 豊	地表約 20cm位の所より食害 されている。枯死 10% 生育 可能 90% である。
青 森	青森局大畑署大 畑事業区(下北 郡大畑町)	スギ, トド マツ, カラ マツ3~6年	面積 本数	9.8ha 579本	5.24	大畑署 沢田徳太郎	枝や梢頭部分が噛み切られて いる。

○ ノネズミ

○ ノウサギ

青 森	青森局深浦署深 浦事業区(西津 軽郡岩崎村)	スギ 1~5年	面積 本数	19.61ha 13,700本	5.17	深浦署 宮崎 修	ノウサギは枝葉の先端を切断 食害しノネズミは根際より地 上5cm位の樹皮を食害してい る。
岩 手	青森局沼宮内署 沼宮内事業区 (岩手郡松尾村)	カラマツ 6年	面積 本数	19.68ha 5,000本	5.23	屋敷台担当区 木村 侃	ノネズミは根を食害ノウサギ は枝葉の先端を切断食害して いる。

以上の外 北海道より

○ ノネズミ (17 枚分)

北海道			面積 本数	151.3ha 156,628本			
-----	--	--	----------	---------------------	--	--	--

○ ノネズミ

○ ノウサギ (14 枚分)

北海道			面積 本数	125.61ha 138,640本			
-----	--	--	----------	----------------------	--	--	--

刊行物紹介

石川県林業場 業務報告 昭和 33 年度
 高根 久夫：マツカレハの発生消長
 // : 苗畑における根切虫防除試験
 寺沢 幸夫：薬剤による野兎の被害防除について

兵庫県林業試験場 業務成績報告 昭和 33 年度
 _____ : ドロノキハムシの生態調査
 _____ : 兎害防除試験
 _____ : 主要害虫の生態調査
 _____ : マツカレハの発生消長調査
 _____ : スギ赤枯病の防除試験

島根農科大学 研究報告 第 8 号 35 年 3 月
 三浦 正：山陰地方における針葉樹の害虫の生態に関する研究

新潟県林業試験場 研究報告 第 4 号 1959
 筈の害虫「ハジマヨトウ」の産卵について
 応用動物昆虫学会 日本応用動物昆虫学会誌
 第 4 巻 2 号 35. 6

平田 貞雄：ヨトウガの相変異

帯広営林局 樹 氷 1960. 7
 金子 良弘：ポリエチレン袋入毒餌配置
 前田 満：火入れと野ネズミ

日本林学会 日本林学会誌 Vol. 42 No. 7
 西口 親雄：ヤツバキクイの生態に関する 2, 3 の観察

秋田営林局 蒼 林 1960. 7
 深浦 友議：林内生丸大防腐防虫保護試験
 佐藤駒之助：林内防腐予備試験 第 2 報

農林協会 林野時報 第 8 巻第 6 号
 脇黒 友三：木材を食う虫

林総協 グリーン, エイジ 1960. 8
 成沢多美也：ノウサギの生態と被害

北方林業会 北方林業 Vol. 12 No. 7 136 号 1960
 内田 映：北海道におけるナキウサギの分布

秋田営林局林曹会 蒼 林 Vol. 11 No. 8
 鶴岡営林署：林内生丸大防腐防虫保護試験
 林内防腐予備試験 第 3 報

帯広営林局林友会 樹 氷 9. 1960
 加藤 昭司：カラマツ造林地視察報告

長野営林局互助会 長野林友 3. 1960
 水野 武雄：ノネズミ, ノウサギ, 野鳥

青森営林局林友会 青森林友 9. 1960
 加藤 公男：針葉樹稚苗の立枯病防除試験

東京農大 農学集報 Vol. 5 No. 4, 3. 1960
 田村 正人：クリタマバチ Dryocosmus Kuriphilus
 YASUMATSU に関する研究 (第 1 報)

幼虫の生長過程に関する形態学的観察
 茨城大学農学部 茨城大学農学部学術報告 第 7 号
 Dec 1959

大内 実 : マツカレハ幼虫の日週活動及び摂食量につ
 鈴木 幹男 : いて (英文)
 田村 哲夫
 大内 実 : ドクガの摂食活動について
 鈴木 幹男

日林会 日本林学会誌 Vol. 42 No. 9 9. 1960
 斎藤 謙 : スギノアカネトラカミキリ幼虫の形態とス
 小島 圭三 : ギ樹に対する加害例

帯広営林局 樹 氷 8. 1960
 合田 昌義：野ねずみの忌避剤について (3)

高知昆虫同好会 げんせい No. 10 Oct 1960
 中村 慎吾：広島県北部におけるクスサンの大発生記録
 小島 圭三：日本産カミキリムシ類の生態学的研究, 成
 虫の産卵と幼虫の食性

北方林業会 北方林業 Vol. 12 No. 10 139 号
 10. 1960

太田嘉四夫：野鼠の発生予察のために
 上田 明一：北海道の野鼠異常発生にともなう 35 年度
 の情報について

平岩 馨邦：九州における 34 年度野鼠および野兎発生
 内田 照章 : 消長と被害状況
 田中 亮 : 四国における 34 年度の野鼠発生消長と被
 伊藤 武夫 : 害状況
 宇田川竜男：静岡県下における 34 年度の野鼠発生消長
 と被害状況

柴田 義春：野兎の被害
 遠藤 克昭：針葉樹稚苗雪腐病
 35年度の北海道における被害調査から

昭和 33 年度森林有害動植物被害調査報告

鋭意とりまとめ中の昭和 33 年度森林有害動植物被害
 調査報告は、さきごろ印刷ができ上り、配布しました。
 もう読者諸賢の手もとに届いて色々活用なさっている方
 もございませうが、病害について、樹種別に被害面積
 を取りまとめてみますと次のようになります。尚、虫害
 ・獣害については、まとも次第お知らせします。(単位
 ha)

カラマツ	4,191.10 (54.1)	トドマツ	17.51 (0.2)
スギ	2,717.51 (35.4)	エゾマツ	0.84
ヒノキ	400.65 (5.2)	ヒバ	3.60
タケ	174.90 (2.3)	ストロブマツ	1.20
クロマツ	108.31 (1.4)	テダマツ	0.01
アカマツ	44.44 (0.6)	広葉樹	64.06 (0.8)
() 内は%			

編集後記：遅れを取り戻して参りました。やつと軌
 道に乗った感じです。今後良い企画のもとに諸賢の読書
 欲を満たすべく努力します。本号も情報が大部分のページ
 を占めていますが、皆々様の被害速報が多いのを喜んで
 います。今後共一層御支援下さるようお願いしておき
 ます。
 (編集幹事)
 (定価 50 円)